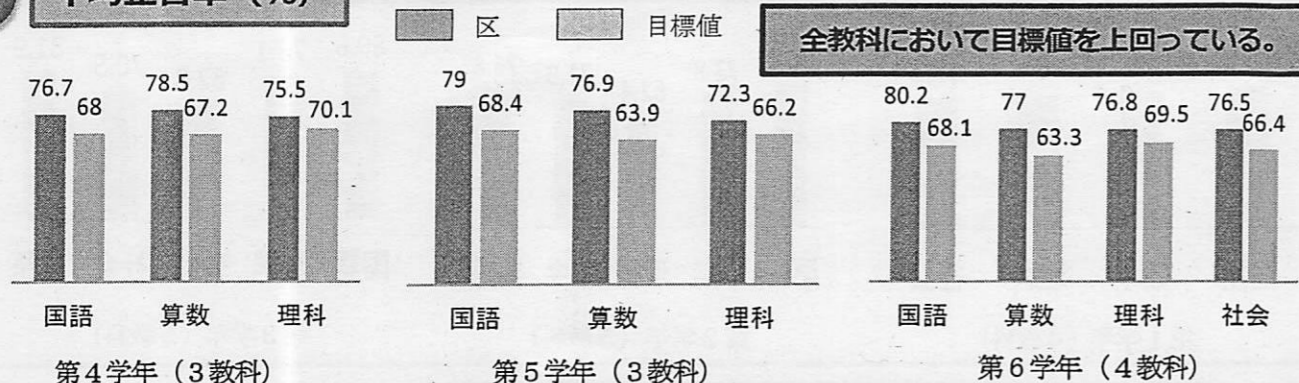


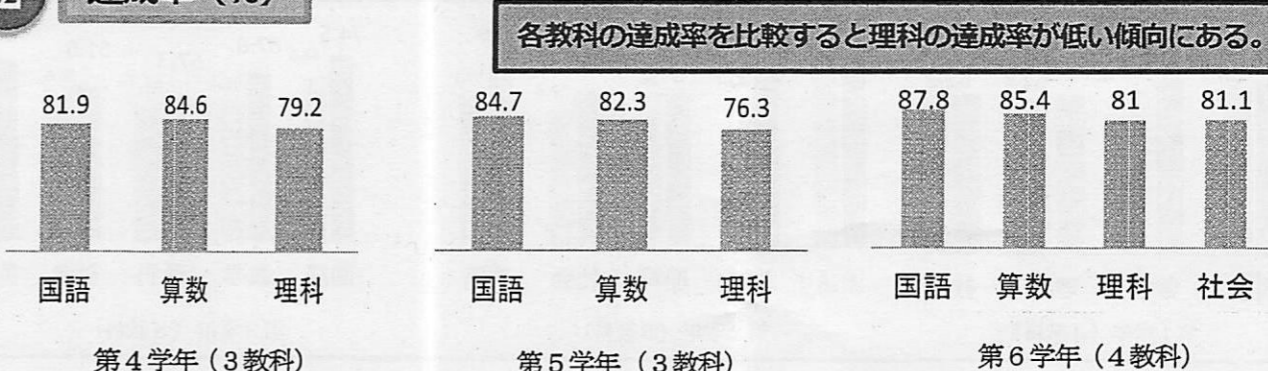
学力調査結果の分析・授業改善について (小学校)

平成29年9月12日
教育指導課

1 平均正答率 (%)



2 達成率 (%)



3 「基礎/活用」別集計結果(抜粋)

★第5学年			★第6学年			
		国語	算数	理科	社会	
基礎	達成率	86.6	83.9	75.1		81.6
	平均正答率	82.3	78.8	73.2		79.9
活用	達成率	75.8	77.9	77.5		66.9
	平均正答率	63.4	66.3	69.0		58.3

「活用」の達成率・正答率は、「基礎」と比較すると低い。特に、第6学年算数における「活用」の平均正答率は低い。

4 調査結果【意識調査・第6学年(抜粋)】

自分の思っていることや考えていることをまわりの人に話しますか。(国語)

	話す	わりと話す	あまり話さない	話さない	無回答	
区	32.6	40.9	22.2	4.1	0.1	
評定	3	33.3	42.0	21.4	3.2	0.1
	2	30.3	41.7	22.9	5.1	0.0
	1	31.0	32.7	26.8	8.9	0.6
全国	25.8	39.2	28.9	6.0	0.2	

自分の思っていることや考えていることを話している児童ほど評定が高い。

問題が解けたとき、別の解き方も考えてみますか。(算数)

	考える	わりと考える	あまり考えない	考えない	無回答	
区	38.3	32.9	22.9	5.9	0.1	
評定	3	43.2	33.5	19.5	3.9	0.0
	2	32.8	31.1	24.4	11.8	0.0
	1	16.3	30.2	39.6	13.4	0.5
全国	28.7	32.7	28.1	10.2	0.3	

問題が解けたとき、別の解き方を考えている児童ほど評定が高い。

※評定3 (平均正答率が目標値+5ポイント以上)、評定2 (平均正答率が目標値と同程度)、評定1 (平均正答率が目標値-5ポイント以下)

5 誤答分析【第6学年「活用」】

教科	出題内容例	解答形式	活用の観点	平均正答率	無回答率
国語	・文章の内容を読み取り、他の例に当てはめて考える。	選択	思考力・判断力	57.7	0.7
	・資料と話し合いを正しく読み取って考えることができる。	選択	思考力・判断力	59.3	0.8
算数	・正方形の紙を3回折って切った形が正八角形だと分かる。	短答	思考力・判断力	33.3	6.2
	・百分率を理解し、代金を求めて比較することができる。	記述	表現力	29.7	11.5
理科	・水の温度を下げたとき、ミョウバンの溶解度が大きく下がり、溶け残りが生じることを推測できる。	選択	思考力・判断力	37.0	1.7
	・川原の石の写真から、観察された川原の場所を推測できる。	短答	思考力・判断力	55.5	3.1
社会	・日本の輸入品の変化について、その背景を複数の資料をもとに判断することができる。	選択	思考力・判断力	46.9	2.5
	・日本の米の生産量の変化について、複数の資料を関連づけて把握することができる。	短答	思考力・判断力	50.1	5.9

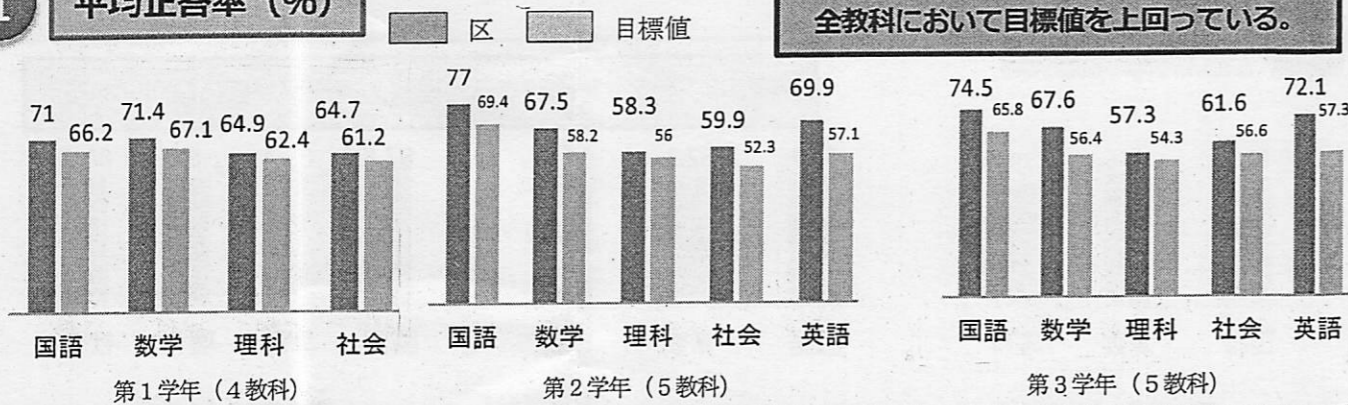
※解答形式(選択、短答、記述)、活用の観点(思考力・判断力、表現力)

6 授業改善の方向性

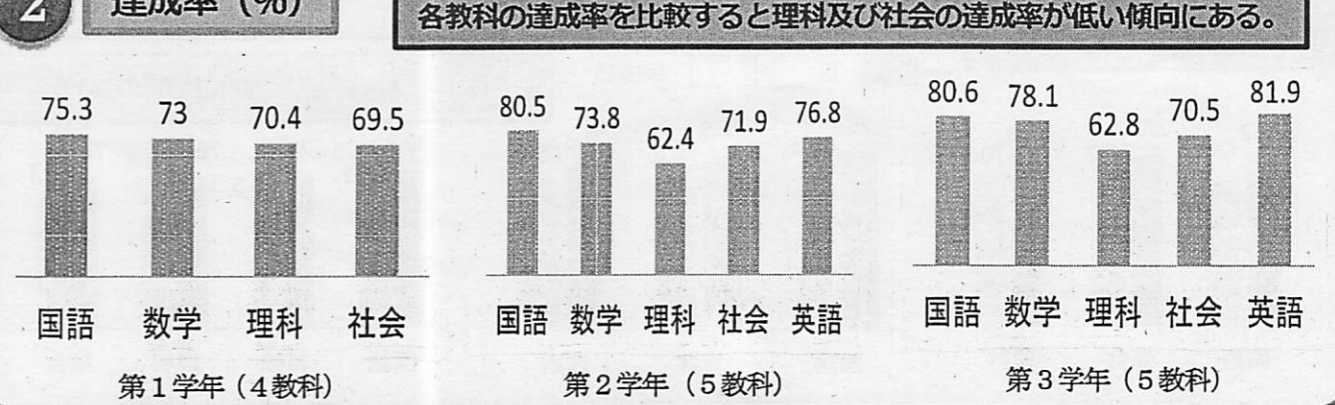
- 児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れる。
- 筋道立てて考えたことや判断の根拠を過不足なく示して説明する指導を充実させる。

教科	活動例	留意点
国語	自分の考えを書く。 (例:活動報告文)	・活動目的を確認し、学習計画を立てさせる。 ・目的や意図に応じてグラフや表を基に自分の考えを書かせる。
算数	グラフを批判的に考察する。 (例:折れ線グラフの読みとり)	・根拠となる事柄が不足している説明を取り上げ、説明として何が不足しているのかについて話し合わせる。 ・話し合ったことを児童一人ひとりが振り返って確認させる。
理科	実験結果から結論を導く。 (例:温度による金属の長さの変化)	・考察する時間を十分確保する。 ・既習事項を関連させ、根拠を示しながら自分の考えを書かせる。
社会	目的や原因を考える。 (例:浄水場の役割や意味)	・調べて分かったことを発表した後、「なぜだと思いますか」「どのような目的がありますか」などのように発問し、それらが行われている目的や原因を考えさせる。

1 平均正答率 (%)



2 達成率 (%)



3 「基礎/活用」別集計結果 (抜粋)

★第2学年						★第3学年						
	国語	数学	理科	社会	英語		国語	数学	理科	社会	英語	
基礎	達成率	80.9	75.1	62.1	70.3	78.5	達成率	83.4	78.5	61.6	66.8	82.7
	平均正答率	78.9	71.6	61.1	59.7	74.2	平均正答率	78.2	70.8	60.8	64.3	77.2
活用	達成率	79.5	60.6	71.3	80.1	74.0	達成率	72.4	61.2	67.8	70.6	78.4
	平均正答率	69.9	52.2	49.3	60.9	59.3	平均正答率	60.8	50.9	45.5	47.3	59.5

「活用」の達成率・正答率は、「基礎」と比較すると低い。特に、理科における「活用」の平均正答率は、第2、3学年ともに低い。

4 調査結果【意識調査・第3学年 (抜粋)】

評定	そうしている	どちらかといえばそうしている	どちらかといえばそうしていない	そうしていない	無回答
区	34.2	37.6	18.7	9.4	0.1
5	42.9	37.7	15.6	3.9	0.0
4	33.3	40.7	19.6	6.4	0.0
3	38.0	38.0	13.2	10.1	0.8
2	29.9	28.6	22.7	18.8	0.0
1	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0
全国	19.9	38.8	28.0	11.9	1.4

自分の思いや考えを積極的に話している生徒ほど評定が高い。

評定	考えようとしている	どちらかといえば考えようとしている	どちらかといえば考えようとしていない	考えようとしていない	無回答
区	20.0	28.0	28.3	22.6	1.1
5	35.2	33.3	23.8	7.6	0.0
4	22.4	29.5	28.9	18.8	0.4
3	9.1	20.5	37.5	29.5	3.4
2	10.7	24.9	25.4	36.7	2.4
1	10.0	20.0	20.0	50.0	0.0
全国	11.7	26.1	33.3	27.0	1.9

問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている生徒ほど評定が高い。

※評定5 (平均正答率が目標値+5ポイント以上のうち上位22%)、評定4 (平均正答率が目標値+5ポイント以上のうち下位78%)、評定3 (平均正答率が目標値と同程度)、評定2 (平均正答率が目標値-5ポイント以下のうち上位78%)、評定1 (平均正答率が目標値-5ポイント以下のうち下位22%)

5 誤答分析【第3学年 「活用」】

教科	出題内容例	解答形式	活用の観点	平均正答率	無回答率
国語	・同音意義語について理解している。	短答	思考・判断力	34.1	15.3
	・書いた手紙を読み返し、適切な表現に書き直すことができる。	選択	思考・判断力	44.7	1.1
数学	・グラフから弟が出発してから何分後に兄が図書館の前を通ったのかを求めることができる。	短答	思考・判断力	44.2	10.0
	・2つの直線の傾きを読み取り、どちらのばねのほうがよく伸びるかを説明することができる。	記述	表現	42.0	8.7
理科	・家庭内の配線は並列つなぎであることがわかり、そのようになっている利点を説明できる。	記述	表現	31.1	5.3
	・セキツイ動物と無セキツイ動物のからだの特徴について、考えることができる。	短答	思考・判断力	26.9	4.3
社会	・安土桃山時代のキリスト教の広がりに関する資料について考えることができる。	選択	思考・判断力	27.2	1.0
	・明治初期の政府の特色を資料を読み取って考えることができる。	短答	思考・判断力	20.0	10.1
英語	・長文の内容に関する質問に英語で答えることができる。	記述	表現	32.1	19.4
	・英語でたずねる文を書くことができる。	記述	表現	27.8	12.6

※解答形式 (選択、短答、記述)、活用の観点 (思考力・判断力、表現力)

6 授業改善の方向性

- 生徒が主体的に考える場面を設定する。
- 考えたことを表現・交流する場面を設定する。

教科	活動例	留意点
国語	根拠を明確にして自分の考えを書く。 (例: ちらしを作る)	・ポスターやパンフレットを集め、書き手の目的や意図を考え、ノートにまとめる。その後、グループで交流させる。
数学	事柄が成り立つ理由を説明する。 (例: 方程式)	・代入して得られた式の値を根拠にして、事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する場面を設定する。
理科	結果の考察などを検討して改善する。 (例: 気象とその変化)	・雲の成因に関する知識を活用して、説明させる。 ・資料を基に他者の考察を検討させる。
社会	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する。 (例: 江戸周辺の特産品の特色)	・必要な情報を明らかにし、自分の言葉でまとめさせる。 ・複数の資料を関連付けて考えさせる。
英語	「話す」ことを「書く」ことにつなげる。	・口頭練習を十分に行う。 ・英文を言えるようになってから書く練習をする。